

## 事業報告目次

総括	1
1. 地域福祉活動の推進	3
2. ボランティア事業の推進	7
3. 在宅福祉サービス事業の推進	10
4. 困窮世帯等に対する支援事業	12
5. 広報・啓発活動の推進	14
6. 経営体制の強化	16
7. 介護サービス事業の効率的経営	19
8. 指定管理者制度における施設管理経営	24
9. 収益事業経営充実強化	27
10. 社会福祉関係団体・運動との連携支援	28

# 平成21年度事業報告

## 総括

国においては、政権交代後、事業仕分け作業等の経済対策が実施されるなか、依然として世界同時不況の影響は本年も影を落し、個人消費の低迷、デフレスパイアルによる企業の倒産・リストラ等、大型老舗店舗においても閉店を余儀なくされるなど経済情勢は深刻化を増しています。地域に目を向けると、児童虐待・高齢者の一人暮らし世帯の増加など、社会福祉を取り巻く環境も依然と厳しい状況にありました。

こうしたなか、本会では役職員一丸となり、事業の見直し、基金の有効活用、収益事業の強化など経営基盤の強化に取り組みつつ、中期展望に立ち、地域住民・関係機関・団体等と連携し「行動する社協」・「地域から見える社協」を目指した地域福祉活動計画が完成し、今後の取り組みの方向性が確立した年度でした。

## 重点事業の取り組み

### ① 財政基盤強化のための財源確保

景気低迷による寄付金収入の減収や補助金、委託金の削減等、財政面や事業活動において重大な局面を迎えており、新しい環境にふさわしい先導的な役割を果たしていくためには、より安定した財源確保が非常に重要です。経営基盤の強化策として、子育て分野における新規受託事業開拓について検討し、懸案事項であった会費制度の見直しに着手しました。また、経費削減、事務事業の見直し等支出の抑制に努め、財源の効率的な運営を目指しました。

### ② 住民と協働しての地域福祉活動計画の策定

地域福祉活動計画の策定については、進行計画表を作成し、住民アンケート・福祉関係団体ヒアリング・策定委員会を実施するなど、住民の声が活かされた地域福祉活動計画に仕上がり、「行動する社協」・「地域から見える社協」として実践が期待されます。

### ③ 災害時要援護者福祉マップ支援体制の充実

災害時要援護者福祉マップを個々の民生委員児童委員に担当地区別の小型版を配布し、現状に即した修正が迅速にとれるよう取り組みました。

### ④ 年金相談の開設

21年度より、新規事業として実施、広報誌「かけはし」13号・15号にて周知をしましたが、綾歌・飯山での相談件数が思いのほか伸ばすことが出来ませんでした。この事を踏まえて、相談体制・周知方法の見直しが必要とされます。

### ⑤ 老人ミニデイサービス事業の運営

介護保険の対象とならない高齢者の方々を対象に、健康チェック・食事、趣味活動、介護予防を取り入れたレクリエーション等を行い、人と人との交流を通して更なる活力活性の場所としての事業展開を行いました。

### ⑥ 介護サービス事業の安定経営

法改正による介護報酬見直しや職員配置の見直しにより収益が改善されたが、利用者数については前年度並みでした。22年度は介護職員処遇改善交付金等を活用し、会議研修などにおいて職員教育に重点を置き、より一層のサービス向上に努め、魅力ある事業所運営に取り組みます。

#### **⑦ 指定管理**

飯山総合保健福祉センターにおいて、風呂のボイラー・シャワー改修工事を行うなど施設改善に取り組みました。今後も利用者に対するサービスの向上に努めてまいります。

#### **⑧ 収益事業**

本年度4月から競艇場のナイター営業開催により、売店の中での利用者が減少したが、自動販売機の売上を手数料収入に契約内容を変更し、加えて人件費、材料費、経費等の圧縮により、前年度と同様の利益を計上することができ、また、本年度も200万円を一般会計へ繰り入れすることができました。

# 1. 地域福祉活動の推進

## (1) 地域福祉活動計画の策定

平成22年度からの5か年間を計画期間とし、地域住民や福祉関係機関・団体と連携を図りつつ、地域福祉活動を進めるための行動計画として策定しました。

地域福祉活動をより一層充実させるため、“すべての人々にとって暮らしやすい地域社会づくりをめざして”を基本理念として策定された「丸亀市地域福祉計画」との整合性を持ちながら新しい時代に対応したまちづくりの実現に向けて取り組みます。

## (2) ふれあい相談センターによる問題解消に向けた積極的な対応

住民が身近に相談できる窓口として相談援助体制の強化を図りました。

### ①相談員の構成

本 所：民生委員児童委員・福祉団体役員・有識者・調停委員・介護福祉士  
弁護士・司法書士・社会保険労務士・ボランティアコーディネーター  
綾歌支所：弁護士・社会保険労務士  
飯山支所：弁護士・社会保険労務士

### ② 相談開設状況

#### (ア) 心配ごと相談（開設日数12日）

本 所：	毎月	第1火曜日	午前9時～12時	4件
綾歌支所：	随時			
飯山支所：	随時			

#### (イ) 専門相談

##### ①弁護士相談（開設日数36日）

本 所：	毎月	第2火曜日	午前9時～12時	32件
綾歌支所：	毎月	第2水曜日	午前9時～12時	29件
飯山支所：	毎月	第2木曜日	午前9時～12時	39件

##### ②司法書士相談（開設日数12日）

本 所：	毎月	第4火曜日	午前9時～12時	32件
------	----	-------	----------	-----

##### ③社会保険労務士相談（開設日数24日）

本 所：	毎月	第3火曜日	午前9時～12時	9件
綾歌支所：	偶数月	第1火曜日	午前9時～12時	2件
飯山支所：	奇数月	第1火曜日	午前9時～12時	1件

### 《効果》

従来の心配ごと相談では相談者の減少が見られる一方、専門相談ではますますニーズが高まっていることから今後も継続していきます。

## (3) 高齢者等を対象とした小地域での「ふれあい・いきいきサロン」の強化

閉じこもりがちな高齢者及び障がい者を対象に、外出機会を作ることによって日常生活にメリハリを持たせ、人と人とのふれあい、支え合う場づくりの推進を図りました。

## ① 「ふれあい・いきいきサロン」交流・研修会の開催

年月日	内 容	参加人数	場 所
21. 4. 10	「高齢者のためのレクリエーション指導」 レクリエーション・インストラクター 岩田理香 氏	61名	ひまわりセンター
21. 10. 22	「歌って、心も体もリフレッシュ！」 日本音楽療法学会・香川音楽療法研究会会員 山神千恵子 氏 豊岡真弓 氏	59名	

## ② 「ふれあい・いきいきサロン」活動状況

丸 龜	綾 歌	飯 山
32ヶ所	32ヶ所	21ヶ所

### 《効果》

歩いて行ける自治会館等を拠点にサロンを定期的に実施することにより、誰でも気軽に参加できるふれあいの場として定着し、生きがい活動の場としても重要な役割を果たしています。現在、85ヶ所あるサロンの充実を図るために研修会を実施しました。また、広報誌を活用して新規サロンの拡充にも努めました。

## (4) 地区社協を基盤とした住民参加活動の支援

地域福祉活動を推進していくために必要な活動費を補助することにより、住民の福祉活動への喚起と地域の組織力の強化を図りました。また、防災に備えて資機材の拡充を図るため、引き続き購入助成を行いました。

### ① 地区社協運営助成状況

助 成 金 内 容	金 額
地 域 福 祉 推 進 事 業 助 成 金	1, 441, 100 円
共 同 募 金 配 分 金 助 成 金	2, 609, 000 円
防 災 資 機 材 助 成 金	1, 700, 000 円
社 協 会 費 納 入 相 当 額 助 成 金	7, 864, 200 円
合 計	13, 614, 300 円

### ② 地区行事等への参加

市民が生活するなかで福祉ニーズや課題を主体的に捉え、安全で安心して暮らすことのできる、「住みよい福祉のまちづくり」を目指す活動を支援しました。

## (5) 福祉保健推進委員による生活支援小地域ネットワークづくりの体制整備の強化

高齢者や障がいを持っている方々等、何らかの支援を必要とする人たちが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう小地域におけるネットワークを形成し、福祉保健推進委員(1,371名)を中心に地域の見守り支援活動に努めました。

また、地域に潜在している福祉ニーズを把握することを目的に、民生委員児童委員及び福祉ママ等の協働で、市内在住の福祉対象者の調査を実施しました。

① ねたきり高齢者実態調査（60才以上）

(H21.7月・H22.1月 2回調査)

	男	女	計		男	女	計		男	女	計
城北	7	24	31	郡家	2	7	9	広島	1	2	3
城西	0	1	1	垂水	0	0	0	本島	0	1	1
城乾	12	18	30	川西	7	5	12	綾歌	8	20	28
城坤	7	11	18	飯野	0	5	5	飯山	8	17	25
城南	6	5	11	土器	1	1	2	合計	59	117	176
								前年度	62	130	192

② 高齢者実態調査(80歳到達者)

(H21. 4月調査)

地 区	人 数	地 区	人 数	地 区	人 数
城 北	71	郡 家	61	広 島	8
城 西	38	垂 水	30	本 島	14
城 乾	45	川 西	39	綾 歌	103
城 坤	106	飯 野	38	飯 山	142
城 南	52	土 器	78	合 計	825
				前年度	942

③ 一人暮らし高齢者実態調査（65才以上）

(H21.7月・H22.2月 2回調査)

	男	女	計		男	女	計		男	女	計
城北	107	346	453	郡家	42	120	162	広島	19	53	72
城西	60	257	317	垂水	14	38	52	本島	16	66	82
城乾	53	175	228	川西	31	68	99	綾歌	46	170	216
城坤	74	318	392	飯野	14	44	58	飯山	93	212	305
城南	51	154	205	土器	59	209	268	合計	679	2,230	2,909
								前年度	671	2,234	2,905

《効果》

福祉保健推進委員による小地域ネットワークが全地区に網羅されることによって、民生委員児童委員及び福祉ママ等が行う福祉活動においても連携し、スムーズにニーズを把握することができました。

(6) 施設入所・通所児童の福祉の増進

亀山学園を訪問し、卒業生にお祝い金を贈ることによって家庭で生活する児童と同じように卒業の喜びを分かち合いました。

(7) 地域イベント等における機材の貸し出し

市内の団体等が行う地域振興を目的としたイベントに機材の貸し出しを行いました。

(1回5日間)

機 材	件数	機 材	件数	機 材	件数
お好み焼き鉄板	10	綿菓子機	26	テント	7件
フライヤー	3	ポップコーン機	17	車椅子	14件
		かき氷機(電・手動)	21	輪投げ	16件
		やきいも機	5	ダーツ	10件
		たこやき機	1	ゴルフ	10件
(￥2,000円)	26,000円	(￥1,000円)	70,000円	(無 料)	0円

## 2. ボランティア事業の推進

### (1) 広報・啓発活動

ボランティア団体等に情報を提供し、広報誌でボランティアセンターの役割、活動の内容、講座への参加を呼びかけ、ボランティア活動の普及啓発に努めました。

### (2) 相談・登録・あつ旋事業

丸亀ボランティア協議会に委託し、専任のボランティアコーディネーターが相談・登録・あつ旋に関わり、各ボランティア活動の把握に努め、活動の拡大を図りました。

#### ① 相談開設状況

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（祝日を除く）

#### ② 相談及びあつ旋状況

区分	項目	件数(件)				内 容
		相談	前年度	斡旋	前年度	
ニーズ相談	個人	99	137	90	128	病院送迎・託児ボランティア 介護ボランティア・講師派遣等
	団体	116	98	114	95	
ボランティア相談	個人	70	28	61	25	手話を習いたい・ボランティア活動内容が知りたい・特技を生かした活動がしたい等
	団体	13	3	13	3	

#### ③ 個人ボランティア登録状況

区分	人數(名)	区分	件数(件)	内 容
登録者	男 24 女 39	活動件数	814	運転ボランティア 福祉の店・秋寅の館の当番 事務ボランティア 秋寅の館ミニディサービス 託児ボランティア等
前 年 度	男 20 女 35	リフトカー利用件数	42	イベント参加送迎 病院送迎 他
登録者活動数	1, 338			

#### 《効果》

専任のボランティアコーディネーターが、ボランティア希望者・要望者より十分な聞き取りを行いスムーズなコーディネートを行いました。

### (3) ボランティアフェスティバルの開催

ボランティアの力で「協働によるまちづくり」を目指す幅広い分野で活動する者同士が集結し、第8回目となるボランティアフェスティバルを10月4日（日）に開催しました。当日は、ボランティア団体による手話・点字等の体験コーナーやバザー・縁日コーナーで賑わい、ゲスト出演した「ヤッターマン1号・2号」の写真撮影会によって子どもから大人まで多くの人が集い、楽しみながらボランティア活動の普及に努めました。

#### (4) ボランティアグループ、NPO・関係機関・団体等との連携及び活動支援

各ボランティア団体に、活動情報、助成金募集等に関する情報を提供し、活動の支援等を行いました。また、団体の相談に応じるなど、連携強化に努めました。

#### (5) 災害ボランティア活動支援体制の整備（災害ボランティア養成研修会）

市内を拠点に継続してボランティア活動を展開する団体代表者等を対象に、防災に関する知識を得ることで、もしもの災害時における適切な避難や、支援活動を円滑に行うことができ、さらには日頃からボランティア会員のつながりを持つことによって会員同士、また団体が相互の連携を強化することを目的とし、2月10日に視察研修会を開催しました。

当日は30名が参加し、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」（神戸市）にて被災者による実体験を聴き、野島断層保存「北淡震災記念公園」（淡路市）を見学することによって防災意識の高揚に努めました。

#### (6) ボランティア保険の加入促進

安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア活動保険や、行事用保険などの加入を促進しました。

##### ボランティア保険の加入状況

区分	人 数	団体数
団体	1,125名	44団体
個人	25名	
行事	1,328名	8団体
計	2,478名	52団体
前年度	2,012名	53団体

#### (7) 住民へのボランティア活動の理解・促進事業

ボランティア活動に興味・関心のある方を対象に、活動へのきっかけづくりのため、初歩講座として気軽に参加できる「子育て編」と「シニア編」を開催しました。

##### ①「子育て編」こどもふくしセミナーの開催

子どもの頃からボランティアについて学ぶことを目的に、遊びを通してボランティア活動の楽しさや必要性を知ってもらえる講座を開催し、身近な福祉を体験できる機会を提供しました。

年月日	内 容	参加延人数	場 所
ピーチコース 21. 7.28 ～ 7.30	【手話ってなに？】 手話を学ぼう！ 点字オセロ対決もしてみよう！ 【うどんづくり・ふるさと遊び】 うどんづくりとふるさと遊びを体験しよう！	ピーチコース 54名	ひまわりセンター
マリオコース 21. 8.24 ～ 8.26	【お菓子づくり】 ボランティアをしている方と、いっしょにおいしいお菓子をつくってみよう！	マリオコース 47名	

## ②「シニア編」ボランティア講座（災害ボランティア体験）の開催

突然の災害が起きた時に何ができるのか、災害時のボランティアスタッフとして体験することにより地域住民との連携による福祉活動の取り組みについて考える機会を持ちました。

年月日	内 容	参加人数	場 所
22. 3. 4	講演 「地域で災害に備えよう」 演習 「身近なもので、災害時に役立つものづくりに挑戦！」 N P O 法人さくらネット 代表理事 石井布紀子 氏	48名	ひまわりセンター

## ③中学生ワークキャンプの実施

市内の中学生徒を対象に、施設での体験を通じて社会福祉への理解と関心を高めるために夏休みの期間で開催しました。

年 月 日	内 容	参 加 人 数	場 所
21. 7. 31 ～ 8. 1	知的障がい者施設での体験 学習（夏祭りのお手伝い）	8名	社会福祉法人うぶすな会 通所授産施設うぶすな園

## ④ボランティア市民講座の開催

地域福祉活動に携わる方々を対象に、身近に接する福祉を体験することによって、ボランティア意欲の向上とボランティアの活動に対する必要性を認識し、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を実現するための地域住民が互いに支え合う仕組みづくりを目的として開催しました。

年 月 日	内 容	参 加 人 数	場 所
22. 3. 26	①ふれあいいきいきサロンの活動～誰もが「楽しく 気軽に 無理なく」集うには～ ②安心安全なまちづくり～災害時における、危機管理と支えあいの仕組みづくり～ ③点字講座～視覚障がい者の日常生活に必要な情報提供～ ④朗読講座～視覚障がいの方へ朗読を活かした情報提供～ ⑤手話講座～ゼスチャーで伝えよう～	61名	ひまわりセンター

### 《効果》

ボランティアを始めるきっかけづくりとして講座を開催し、ボランティア活動の楽しさや必要性を体験することによって、活動への第一歩を踏み出す足掛かりとなりました。

### 3. 在宅福祉サービス事業の推進

#### (1) 日常生活自立支援事業の受託運営

判断能力に不安があるために、適切な福祉サービスを受けることができない方が地域で自立した生活を送れるように、本会が法律に基づき福祉サービスの利用手続きの援助や、利用料の支払代行などを行いました。専門員を配置し、丸亀市内の利用者の把握に努めるとともに、諸会議等にも参加し、事業の推進に努めました。

##### ① 専門員研修会・関係機関連絡会等への参加

利用者との係わりの深い専門員のスキルアップのため、せいかつかんしんセンターが開催する研修会、事例検討会等に積極的に参加しました。

##### ② 生活支援員研修会・関係機関連絡会等への参加

専門員と協力して利用者支援を行うため、担当職員・生活支援員は生活支援員集合研修会等も積極的に参加し情報交換・連携強化に努めました。

##### ③ 精神保健福祉連絡会（かめたの会）への参加

当事者、近隣の精神保健福祉に関する行政・病院・施設及び団体等が会し、精神保健福祉向上のための情報交換・意見交換、また、研修会等の開催に参加し、関係機関・施設・団体等との連携強化に努めました。

##### ④ 福祉サービス利用援助事業利用状況

月	人数	月	人数	月	人数	月	人数
4月	24	7月	27	10月	30	1月	31
5月	24	8月	28	11月	30	2月	31
6月	25	9月	30	12月	30	3月	32

##### ⑤ 相談・問い合わせ件数

件数	対象者	相談経路	相談内容
609件	認知症高齢者等 291件 知的障害者等 70件 精神障害者等 244件 その他、不明 4件	本人 家族、親類 知人 民生児童委員 行政 保健、医療、福祉機関 その他	458件 37件 3件 1件 22件 79件 9件 福祉サービスの手続き等 日常的金銭管理等 書類等の預かり 保健サービスの手続き 医療に関する事項 福祉サービスに関する苦情 今後の生活設計等 本事業に関する問い合わせ 成年後見制度に関する問い合わせ その他

## (2) 老人ミニデイサービス事業の受託運営

新規事業として、丸亀の旧き商家の名残をとどめつつ、商店街の新しい活性化の源にもなっている通町の「秋寅の館」で、市内在住のおおむね 65 歳以上の介護保険の対象とならないひとり暮らし高齢者や虚弱高齢者等に健康管理と介護予防としての創作活動等を行いました。

(人)													
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	48	50	55	48	45	46	55	75	43	41	49	39	594

## (3) 高齢者友愛訪問活動

### ①一人暮らし高齢者友愛訪問花鉢プレゼント事業

市内 70 歳以上の人暮らし高齢者の誕生月に、民生委員児童委員が安否確認を兼ねて自宅を訪問し、季節の花をプレゼントしました。(対象者 2, 252 名)

### ② 高齢者友愛訪問実施状況

年月日	内 容	対象者
21. 5月	80歳到達者在宅高齢者長寿お祝い訪問	825 名
21. 7月	60歳以上在宅ねたきり高齢者友愛訪問（上期）	194 名
22. 2月	60歳以上在宅ねたきり高齢者友愛訪問（下期）	176 名

### 《効果》

日常の訪問活動以外に、プレゼントを贈ることによって高齢者、また、家族とのコミュニケーションを図ることができました。

## (4) 生活支援配食サービス事業

調理を困難とする 70 歳以上の人暮らし高齢者を対象に、週 5 回までを限度とした昼食を配達する生活支援配食サービス事業を展開しました。(利用者 13 名・延 1, 837 食)

## (5) 車いすの貸し出し

車椅子を貸し出すことにより、通院等の移動に利便性を図り、介助負担の軽減など在宅福祉の推進に努めました。

### ① 貸出状況

各 支 所	実利用者	貸出延件数
本 所	115 名	489 件
綾 歌 支 所	7 名	33 件
飯 山 支 所	22 名	78 件

## 4. 困窮世帯等に対する支援事業

### (1) 助け合い金庫貸付事業

公の制度等の対象とならない世帯に対し、本会が独自に貸付及び給付を実施し、自立更生に向けた援助指導を行いました。

区分	件 数	貸付金額(円)
助け合い資金(貸付)	7	210,000
緊急援助物資	31	米・缶詰・味噌汁等
合 計	38	210,000

### (2) 受託事業（生活福祉資金貸付事業）

市内の低所得者、高齢者、障がい者世帯を対象に必要な資金を貸し付け、経済的自立と生活意欲の助長を図り、民生委員児童委員と連携し貸し付け世帯の自立更生に努めました。

(今年度相談 275 件)

区分	貸付件数(件)	貸付金額(円)
福祉資金(更生資金)	1	2,800,000
福祉資金(障がい者更生資金)	0	
福祉資金(福祉資金)	1	1,495,000
教育支援資金(修学資金)	3	3,491,000
福祉資金(療養・介護等資金)	2	284,000
緊急小口資金(緊急小口資金)	2	200,000
緊急小口資金(生活保護つなぎ)	44	3,500,000
福祉資金(災害援護資金)	0	
総合支援資金(離職者支援資金)	11	6,123,646
不動産担保型生活資金	0	
臨時特例つなぎ資金	1	80,000
合 計	65	17,973,646

#### 《効果》

近年の雇用情勢から離職世帯の相談件数が急増する一方で、生活福祉資金貸付制度が21年10月に改正され、連帯保証人が立てられない場合でも貸付可能、また、貸付利子についても緩和され、より利用しやすくなるように見直しが行われました。

さらには、従来は対象とされなかった生活保護申請中の世帯においても、一時的な小口資金を借り入れすることができるようになったことから、相談及び貸付件数が大幅に急増しました。

### (3) 歳末見舞金支給事業

生活困窮世帯等の調査を実施し、歳末たすけあい運動に寄せられた募金を、見舞金として給付し、生活の安定に寄与しました。

## ①生活困窮世帯

(H21.12月調査)

	世帯数	人數(名)
生活困窮世帯	198	410
前年度	205	420

## ②在宅ひとり親児童

(H21.12月調査)

	世帯数	人數(名)
在宅ひとり親児童	48	81
前年度(交通遺児)	6	10

## ③施設入所者(市内出身者)

(H21.12月調査)

項目 区分	施設数	人數(名)
身体障害者更生援護施設	12	70
老人施設	6	27
児童福祉施設	5	31
知的障がい者援護施設	18	162
精神障がい者施設	6	31
特別支援学校・聾学校児童生徒	6	111
その他の	11	86
合計	64	518
前年度	66	551

## 《効果》

今年度は、交通遺児に替え、母子・父子家庭に配分することにより、児童が明るく新年を迎えるよう効果的な配分を行うことができました。

## 5. 広報・啓発活動の推進

### (1) 社会福祉大会の開催

10月30日(金)、市民会館大ホールに福祉関係者が一堂に会し、生まれ育った地域で安心して生活が送れる地域福祉の充実を目指す決意を新たにするとともに、多年にわたり、社会福祉の発展に貢献された方々の顕彰を行いました。

2部では講師に西川ヘレンさんをお迎えし、「大家族でささえ愛、見守り愛、励まし愛」と題して、お笑い芸人の西川きよしさんとご自身の親の介護エピソードをユーモアを交えた泣き笑いで熱弁いただき、会場も愛情を持っての見守りに、涙と笑いで盛会のうちに閉会しました。

- |                   |         |
|-------------------|---------|
| ・丸亀市社会福祉協議会会长表彰   | 23名・3団体 |
| ・丸亀市社会福祉協議会会长感謝   | 5名・11団体 |
| ・香川県共同募金会丸亀市支会長表彰 | 4名      |

#### 《効果》

福祉関係者が一堂に会し、被表彰者の功績を顕彰することにより更なる活動の飛躍、また、関係者に対する福祉活動へ取り組む励みの場となりました。

また、講演会を通して、聴講者全員が「家族のささえ愛、見守り愛、励まし愛」の必要性を再認識されたように思われました。

### (2) 社協だより「かけはし」の発行

地域福祉活動を掲載した広報誌を全戸配布することにより、情報提供を行い、社会福祉に対する市民への広報活動に努めました。

号 数	発刊年月日	発刊部数	主 な 内 容
13号	21. 7. 1	44,500	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成21年度事業計画及び予算</li><li>・地域福祉活動計画策定状況</li><li>・地域のみなさんといっしょに</li><li>・ボランティア参加募集</li><li>・訪問入浴・デイサービスを利用しませんか</li><li>・ふれあい相談</li><li>・ヘルパー募集</li><li>・善意の窓・会費</li><li>・あやうた温泉夏まつり</li></ul>

号 数	発刊年月日	発刊部数	主 な 内 容
14号	21. 10. 1	44,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤い羽根共同募金</li> <li>・第5回社会福祉大会を開催します ～西川ヘレンさんを迎えたて～</li> <li>・平成20年度事業・決算報告</li> <li>・地域のみなさんといっしょに</li> <li>・小・中学生ボランティア体験</li> <li>・善意の窓・あやうた温泉まつり開催しました</li> <li>・ホームヘルパー募集しています</li> <li>・本島に福祉車輛が寄付されました</li> <li>・ボランティアフェスティバル2009のご案内</li> </ul>
15号	22. 3. 1	44,500	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第5回丸亀市社会福祉大会」開催</li> <li>・共同募金 お礼と報告</li> <li>・「ふれあい・いきいきサロン」</li> <li>・地域福祉活動計画</li> <li>・ひまわりセンター施設見学の報告／湯舟道</li> <li>・ボランティア講座のご案内</li> <li>・デイサービス／ヘルパー募集</li> <li>・善意の窓／相談コーナー</li> </ul>

### 《効果》

市広報誌と同時に全世帯へ配布することにより、福祉情報を身近なものとして幅広い年齢層に提供し、社協事業・ボランティア活動等の啓発に努めました。

### (3) ホームページ等による積極的な情報の提供

地域福祉、在宅福祉サービス事業をホームページに掲載し、ネットを通して啓発活動を行い、本会活動に対する理解を深めました。また、次年度におきましては、リニューアル予定です。

## 6. 経営体制の強化

### (1) 経営基盤の充実

#### ①理事会・評議員会等の開催と地域から信頼される組織づくり

以下のとおり議題審議及び経営状況について承認を得ました。

会議名	年月日	出席者	付 議 事 項
理事会	21. 5.28	12名	・平成20年度事業報告・決算について ・人事議案 1件 ・報告事項 2件
	21. 6. 1	17名	・人事議案 1件
	21. 6.23	17名	・諸規程議案 1件
	21. 12.15	16名	・基本財産処分について ・人事案件 1件 ・諸規程議案 3件 ・会長専決処分の承認について ・報告事項 6件
	22. 2. 8	16名	・基本財産（土地）の売買契約について ・基本財産の処分及び定款の一部変更について
	22. 3.18	17名	・平成21年度補正予算(案)について ・平成22年度事業計画・予算(案)について ・定款の一部変更及び諸規程議案 5件 ・報告事項 3件
評議員会	21. 5.28	28名	・平成20年度事業報告・決算について ・人事議案 1件 ・報告事項 1件
	22. 2. 8	28名	・基本財産（土地）の売買契約について ・基本財産の処分及び定款の一部変更について
	22. 3.18	29名	・平成21年度補正予算(案)について ・平成22年度事業計画・予算(案)について ・定款の一部変更について 1件

地域に開かれた組織として運営の透明性と中立性、公正さの確保を図りながら、法令遵守のもと、事業の執行状況の報告や情報提供に資することができました。

今後、広報誌やホームページの新たな活用方法を検討し、地域福祉の推進役として、幅広い分野からの参加・協力が得られるよう積極的な情報提供・開示を推進し、地域から信頼される組織づくりを目指していきます。

#### ②事務局体制の充実

##### (ア) 担当長会の開催（14回開催）

本会を取巻くさまざまな情勢に対応できる組織を確立するため、新規事業の企画、推進、評価を担う事務局体制の強化は重要です。

担当長会では、環境の変化に対応できる経営体制づくりを目指し、組織編成、既存事業の見直しや新しい子育て分野の事業展開、財源確保の方策について検討を重ねました。更に法人全体の意思統一が図れるよう、方針や共通理念を明確に示し、活力ある事業を展開していきます。

#### (イ) 職員育成の推進

組織と職員のスリム化が進む中、ますます高度化・多様化する住民ニーズに応え、一層効率的で良質な住民サービスを提供していくためには、職員一人ひとりが、社協の使命を持ち、これまで以上に個々の職員の能力の開発・向上に努めていく必要があります。

四国地域福祉セミナー他、各種研修会や講演会等への参加を推奨し、資格取得の支援を行いました。

#### (2) 会員の加入促進と寄付金の状況

会員は、社協活動を支える構成基盤の根幹をなすものですが、その意義効果は不透明になりつつあり、会費収納率は硬直化しています。安定財源として会費の財源割合を高めるため、長年の懸案でした会費制度は、現在、見直しを行いました。また、合併以来、減少傾向にあった香典返し寄付金は、ようやく増収となったものの、依然として厳しい状況です。自主財源（会費や寄付金）の使途をより明確化し、わかりやすく、親しみやすい情報の提供に努め、社協活動の理解と拡充を図ることが今後の課題です。

##### ① [会員・会費の状況]

会員区分	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
一般会員	19,687世帯	25,751世帯	25,618世帯	25,458世帯	25,138世帯
	5,911,300円	7,727,500円	7,685,400円	7,637,400円	7,541,400円
賛助会員	261人	382人	368人	321人	352人
	261,000円	614,000円	599,000円	556,000円	581,000円
団体会員	91団体	158団体	156団体	179団体	189団体
	273,000円	661,000円	700,800円	886,000円	908,000円
合計	6,445,300円	9,002,500円	8,985,200円	9,079,400円	9,030,400円

##### ② [寄付金収納状況]

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
香典返し寄付金	144件	125件	92件	67件	72件
	10,515,000円	10,515,000円	6,748,000円	4,295,000円	5,210,000円
一般寄付金	23件	23件	29件	28件	26件
	968,945円	3,042,230円	4,028,872円	3,121,608円	3,134,981円
物品寄付	10件	14件	10件	20件	16件

(3) 地域福祉活動推進を図るための積立金の増強

金利動向に留意し、安全かつ有利な利息収入の確保に努め、本年度は、基本財産(土地)の売却収入を福祉推進資金運用積立預金に積み立てました。積立状況は下記のとおりです。

[積立状況]

[円]

名 称	種別	前年度 繰越金	増減額	決 算 額	[内、利息収入]
福 祉・災 害 積 立 預 金	普通	10,812,224	△8,233,016	2,579,208	222,579,208
	定期	210,000,000	10,000,000	220,000,000	
福 祉 推 進 資 金 運 用 積 立 預 金	普通	21,458,594	△3,642,600	17,815,994	189,425,594
	定期	110,000,000	61,609,600	171,609,600	
介 護 保 険 事 業 安 定 積 立 預 金	普通	3,721,385	840,063	4,561,448	134,561,448
	定期	130,000,000	0	130,000,000	
合 計		485,992,203	60,574,047	546,566,250	3,531,214

## 7. 介護サービス事業の効率的経営

### (1) 受託運営事業

#### ① 老人ホームヘルプサービス事業

老人ホームヘルプサービス事業(軽度生活援助事業・生活管理指導員派遣事業)を受託し、介護保険の対象とならない一人暮らし高齢者や虚弱高齢者等で真にサービスが必要な方に対し、安定した自立生活が送れるよう家事サービス・生活指導等を実施しました。

##### (ア) 軽度生活援助事業利用状況

月区分	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度合計	前年度
利用人数	38	38	36	36	36	37	37	38	38	38	36	39	447	480
サービス提供回数	212	193	209	220	189	194	219	187	198	193	183	236	2,433	2,563

##### (イ) 生活管理指導員派遣事業利用状況

月区分	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度合計	前年度
利用人数	9	9	8	9	8	10	6	7	8	8	8	7	97	105
サービス提供回数	40	49	51	51	46	46	35	35	34	37	40	46	510	548

#### ② 生きがい活動支援通所事業

生きがい活動支援通所事業を受託し、介護保険の対象とならない一人暮らし高齢者や虚弱高齢者等で真にサービスが必要な方に対し、要介護状態等にならないための生活指導・軽体操等を実施しました。

##### 利用状況

月区分	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度合計	前年度
サービス提供延べ人数	352	325	304	338	308	298	320	307	300	284	320	305	3,761	4,049

#### ③ 子育てホームヘルプサービス事業

子育てホームヘルプサービス事業を受託し、一時的に育児援助や家事援助等を必要とする児童(0歳児から小学3年生)を養育している世帯に、育児負担の軽減を図るためにホームヘルパーを派遣しました。21年度は、延べ4世帯72時間のサービスを実施しました。

#### ④ 介護予防居宅支援事業（介護予防ケアマネージャー）

介護予防居宅支援事業を受託し、要支援者の居宅介護計画作成を行いました。また、ケース検討会等に積極的に参加し、市との連携を深め、地域における在宅福祉の強化に努めました。

**利用状況**

月区分	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度 合計	前年度
利用人数	27	25	25	24	23	21	22	22	25	24	23	23	284	349

#### ⑤ 移動支援事業（ガイドヘルパー）

移動支援事業を受託し、屋外での移動に困難がある障がい児(者)に対して、地域における自立生活及び社会参加を促す外出のための介助を行いました。

**利用状況**

月区分	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度 合計	前年度
利用人数	8	7	5	8	8	7	8	8	7	7	9	9	91	88
サービス提供時間	49.0	32.0	26.5	45.0	51.0	51.0	72.5	65.5	66.5	45.0	47.0	48.5	599.5	628.0

#### 《効果》

丸亀市より老人・児童・障がい児（者）等の事業を受託し、サービス提供を行いました。老人ホームヘルプ事業では、離島をはじめとした利用者の居宅にヘルパーを派遣し、地域において安心して暮らせる生活の支援に努め、生きがい活動支援通所事業では、「あやうた温泉湯舟道」の指定管理事業と併せた効率的な事業展開を行い、収益確保に努めました。

また、子育てホームヘルプサービス事業、介護予防居宅支援事業、移動支援事業では利用者の立場に立った支援に努めました。22年度はさらなる支援体制強化を図り、利用者ニーズを的確に捉えたサービス提供に努めてまいります。

### (2) 介護保険事業

#### ① 指定居宅介護支援事業（ケアマネージャー）

要介護認定を受けた高齢者等に対し、日常生活における相談助言を行い、居宅サービス計画を作成しました。

**利用状況**

月区分	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度 合計	前年度
利用人数	174	162	170	169	168	169	169	170	173	171	175	174	2,044	2,258

## ② 指定訪問介護・介護予防訪問介護事業（ホームヘルパー）

要介護認定を受けた高齢者等に対し訪問介護員を派遣し、食事・入浴・排泄等の身体介護や、炊事・掃除等の生活援助などのサービス提供を行いました。また、離島等の支援困難地域へ積極的にヘルパーを派遣し、利用者の居宅における日常生活の維持・向上に努めました。

**利用状況**

月区分	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度 合計	前年度	
利用人数	介護	75	71	70	67	71	71	72	79	78	78	82	82	896	968
	予防	96	94	95	94	95	96	95	97	99	98	92	96	1,147	1,062
生活援助訪問時間		653.0	573.5	626.5	662.0	681.5	690.5	739.5	740.5	781.5	709.5	718.5	769.5	8,346.0	8,396.5
身体生活訪問時間		428.0	416.5	426.5	437.0	441.5	367.5	385.5	387.5	404.0	386.5	398.5	493.0	4,972.0	4,588.0
身体介護訪問時間		421.0	368.5	372.0	353.0	348.0	265.0	261.5	287.0	293.0	276.5	288.5	337.5	3,871.5	4,982.5
介護予防訪問時間		890.5	843.0	901.5	891.5	841.0	846.5	904.5	860.5	893.5	842.0	824.0	964.5	10,503.0	10,045.0
合計時間		2,392.5	2,201.5	2,326.5	2,343.5	2,312.0	2,169.5	2,291.0	2,275.5	2,372.0	2,214.5	2,229.5	2,564.5	27,692.5	28,012.0

## ③ 指定訪問入浴・介護予防訪問入浴介護事業（入浴車による家庭入浴）

巡回入浴車を使用し、要介護認定を受けた高齢者等に対して入浴サービスを提供することにより、利用者の日常生活の援助と介護者の負担の軽減を図りました。また、協力医に必要に応じて助言をいただくことにより、安全確実な事業展開に努めました。

**利用状況**

月区分	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度 合計	前年度
利用人数	12	12	11	13	12	13	12	12	13	11	12	12	145	143
サービス提供回数	64	54	62	76	73	71	70	64	69	57	55	64	779	719

#### ④ 指定通所介護・介護予防通所介護事業（デイサービス）

要介護認定を受けた高齢者等に対して音楽療法、レクリエーション、入浴介助、食事介助等を行い、利用者の身体機能の維持と生活の質の向上に努め、居宅における家族介護負担の軽減を図りました。

利用状況

月区分		H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度合計	前年度
利用人数	介護	36	34	34	33	34	37	36	35	36	35	39	40	429	377
	予防	9	10	10	12	10	10	10	12	10	10	9	8	120	119
サービス提供延べ人数	432	385	415	430	380	441	441	426	404	399	428	462	5,043	4,641	

#### 《関係諸会議及び関係研修会への参加》

会議および研修会等に積極的に参加し、関係機関との連携を図り、職員の技術向上に努めました。本年度は57会議延べ108名の職員を派遣しました。

#### 《効果》

21年度介護報酬見直しにより、収入は増加に転じたものの、利用者は要介護から要支援へと軽度化しており、一人当たりの利用額は減少傾向です。今後は、利用者の多様化するニーズに応じた、事業所間でのサービス競争激化が予想されるため、職員研修等において介護人材の質の向上を図り、信頼される事業所運営に努め、さらなる顧客確保に邁進いたします。

### （3）障害者自立支援事業

#### ① 居宅介護事業・重度訪問介護事業（障害者ホームヘルパー）

様々なハンディキャップを持つ障がい者が、その地域や居宅において安心し自立した日常生活を営むことができるよう訪問介護員を派遣して、身体介護・家事援助等のサービスを行いました。

利用状況

月区分		H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	本年度合計	前年度
利用人数	居宅介護	31	31	30	29	29	30	31	30	32	29	29	27	358	390
	重度訪問	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	31
居宅介護訪問時間	401.5	368.5	416.0	406.5	378.0	364.5	425.0	406.0	402.5	336.0	370.5	407.0	4,682.0	4,735.5	
重度訪問訪問時間	173.0	157.0	171.0	170.0	169.0	161.5	163.0	162.0	169.0	170.0	158.0	180.5	2,004.0	2,559.0	
合計時間	574.5	525.5	587.0	576.5	547.0	526.0	588.0	568.0	571.5	506.0	528.5	587.5	6,686.0	7,294.5	

### **《関係諸会議及び関係研修会への参加》**

丸亀市地域自立支援協議会を通じ、施策の把握や情報収集・積極的な意見交換に努め、障がい者(児)ホームヘルパーステップアップ研修や精神障がい者ホームヘルパー講習会など、6会議延べ14名の職員を派遣しました。

### **《効果》**

障害者自立支援事業は、度重なる改定により大幅な制度変更がなされており、利用者からは非常に分かりづらい制度となっているため、会議研修等に参加し、常に新しい情報の収集や意見交換に努めました。

22年度においても常に利用者の状態等を的確に見極め、利用者視点でのサービスの提供に努めてまいります。

判りづらい

## **(4) 利用者保護及び事業の透明性確保のための苦情解決事業**

### **① 苦情相談受付窓口の設置**

介護サービス事業等に関する苦情については、利用者等の立場や環境に十分配慮し、誠意をもって対応しました。平成22年度においても適切な苦情解決を図るため、会議研修等に積極的に参加し、職員の質の向上に取り組んでまいります。

### **② 苦情解決第三者委員会の開催**

本年度は審議案件なしのため、非開催としました。

## 8. 指定管理者制度における施設管理経営

### 総 括

昨年度に引き続き丸亀保健福祉センター・綾歌保健福祉センター・飯山総合保健福祉センター・綾歌健康づくりふれあいセンター(あやうた温泉湯舟道)の指定管理を受け、利用者に対するサービスの向上に努めました。飯山総合保健福祉センターにおいては、以前から懸案事項であった、風呂のボイラー改修工事が行われたことにより、今後、ボイラーの更なる燃焼効率が期待されます。あやうた温泉湯舟道においては、近隣施設の閉鎖、利用料金が安価等により、昨年度に続き利用者数は増加しています。

### 《効果・課題》

施設利用者のニーズを的確に把握し、利便性の向上を図るため、利用者アンケートボックスを設置し、施設利用者の声を聞き改善を行いました。今後、風呂を運営する施設においては、燃料費高等が懸念されるため、更に効率的な施設運営を行い経費削減に努めます。

### (1) 丸亀市保健福祉センター

#### ① センター利用状況

会場	月	〔延べ人数〕												合計
		H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	
1階	機能訓練室	1,165	935	1,068	1,013	912	874	0	889	692	829	692	770	9,839
	囲碁将棋室	486	411	446	539	541	360	0	447	419	465	470	471	5,055
	団体活動室2	198	259	349	292	196	321	0	0	0	0	0	0	1,615
3階	会議室1	438	584	920	612	438	739	796	545	413	564	851	697	7,597
	調理室	107	94	190	207	147	172	451	280	287	305	407	215	2,862
	会議室2	313	508	496	767	392	652	502	437	306	458	510	367	5,708
4階	会議室3	140	279	424	555	273	450	236	242	158	310	322	167	3,556
	会議室4	54	4	0	0	0	66	35	80	92	298	550	27	1,206
	研修会議室全体	0	0	3,199	0	300	0	0	0	0	0	0	0	3,499
	研修会議室1~2	1,394	758	1,699	1,687	988	1,092	1,625	759	1,087	1,108	1,273	774	14,244
	研修会議室3	297	756	737	850	668	348	559	487	622	608	1,168	635	7,735
合 計		4,592	4,588	9,528	6,522	4,855	5,074	4,204	4,166	4,076	4,945	6,243	4,123	62,916
前年度 合計		4,865	5,816	7,045	5,834	4,142	4,047	5,137	4,483	5,925	4,136	4,808	5,478	61,716

#### ② 光熱水費等前年度比較

種類	本 年 度		前 年 度
	ガス	電気	
ガス	2,643,292 円		2,692,331 円
電気	4,926,046 円		5,297,667 円
水道	792,320 円		689,120 円

## (2) 丸亀市綾歌保健福祉センター

利用者のニーズに沿った種々の改善を行いました。

- ・屋外フェンスにセンター表示看板を設置

### ① センター利用状況

[延べ人数]

会場	月	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	合計
1階	多目的ホール	137	207	321	108	268	164	321	154	198	156	337	152	2,523
	相談室 1	13	4	6	11	10	4	16	6	8	10	7	11	106
	相談室 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2階	研修室（和室）	140	126	113	70	88	120	166	125	52	118	84	122	1,324
	相談室 3	23	79	62	24	54	72	67	67	21	62	56	81	668
	調理実習室	38	75	132	98	116	65	90	179	167	164	133	187	1,444
	栄養研修室	38	96	134	98	128	66	90	179	167	164	133	187	1,480
	合 計	389	587	768	409	664	491	750	710	613	674	750	740	7,545
前年度	合計	693	770	640	939	552	527	716	738	709	656	778	713	8,431

### ② 光熱水費等前年度比較

種類	本年度	前年度
ガス	66,821 円	58,227 円
電気	1,879,318 円	2,188,210 円
水道	53,508 円	62,532 円

## (3) 丸亀市飯山総合保健福祉センター

2階の老人健康施設を中心に諸所の改善を行いました。

- ・浴室シャワー水栓を全てリニューアル

### ① センター利用状況

[延べ人数]

会場	月	H21 4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22 1	2	3	合計
1階	相談室 1	6	13	4	20	3	5	9	4	0	5	6	26	101
	相談室 2	6	8	7	9	4	17	11	2	8	9	12	22	115
2階	会議研修室 1・2	241	163	213	311	481	171	115	154	281	127	372	85	2,714
	調理実習室	102	54	57	285	237	75	41	207	194	186	107	144	1,689
	栄養指導室	144	94	101	379	237	116	45	236	230	226	148	171	2,127
	合 計	499	332	382	1,004	962	384	221	603	713	553	645	448	6,746
前年度	合計	737	724	443	818	346	429	450	891	683	259	534	485	6,799

## ② 老人健康施設利用状況

[延べ人数]

月 区分	H21	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22	1	2	3	合計
利用者	6,453	6,616	6,554	6,765	6,058	6,326	6,483	409	369	2,671	6,184	6,868	61,756		
前年度 利用者	6,705	6,734	5,904	6,343	5,720	5,897	6,315	5,679	5,777	4,517	6,070	6,597	72,258		

## ③ 光熱水費等前年度比較

種類	本年度						前年度							
	ガス	電気	水道	重油										
ガス		89,824	円										73,825	円
電気		5,401,769	円										6,472,959	円
水道		4,584,490	円										6,225,800	円
重油		3,297,840	円										5,689,950	円

## (4) あやうた温泉「湯舟道」の経営充実

利用者のニーズに沿った種々の改善を行いました。

- ・ 50型テレビの設置
- ・ 駐車場の拡張
- ・ ロッカーの増設

## ① 温泉施設利用状況

[延べ人数]

月 区分	H21	4	5	6	7	8	9	10	11	12	H22	1	2	3	合計
利用者	4,481	4,787	3,988	4,116	4,261	4,108	4,695	5,296	5,891	5,760	4,897	5,309	57,589		
前年度 利用者	3,677	4,058	4,285	3,912	3,783	3,729	4,094	4,349	4,470	5,084	4,313	4,809	50,563		

## ② 光熱水費等前年度比較

種類	本年度						前年度							
	電気	水道	重油											
電気		2,799,593	円										2,878,972	円
水道		1,342,908	円										1,423,980	円
重油		3,117,555	円										4,225,411	円

## 9. 収益事業経営充実強化

### 福祉売店

#### (1) 競艇場売店

本年度4月から競艇場のナイター営業開催により、売店の日中での利用者が減少したが、自動販売機の売上を手数料収入に契約内容を変更し、加えて人件費、材料費、経費等の圧縮により、前年度と同様の利益を計上することができました。

#### (2) あやうた温泉湯舟道売店及び市役所売店

あやうた温泉湯舟道売店及び市役所売店についても、利用者サービス向上に努めました。

#### 《効果・課題》

本年度も200万円を一般会計へ繰り入れすることができました。

競艇場売店については、平成22年10月から仮店舗へ移転しての営業となるため、勤務、営業形態の見直しを図り、今後さらに経営には十分注意して運営してまいります。

市役所売店の運営については、平成19年12月より身体障害者福祉連合協会（福祉協）より引き継いで運営を行ってきましたが、福祉協との契約変更により本年限りの営業となりました。

## 10. 社会福祉関係団体・運動との連携支援

### (1) 共同募金運動並びに歳末たすけあい運動への実施・推進

赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい運動は、社会福祉推進の財源として重要な役割を果たしており、関係団体や募金ボランティアの協力により大きな成果を得ることができました。

#### ① 会議の開催と参加

運営委員会及び募金ボランティアへの説明会等を開催し、目標達成に向け役職員が一体となり関係団体と協力し運動を展開しました。

#### ② 募金実績額

募金種別	目標額	実績額	目標額に対する割合
共同募金	24,200,000 円	22,647,239 円	93.58 %
歳末たすけあい募金	10,000,000 円	8,852,837 円	88.53 %
合計	34,200,000 円	31,500,076 円	92.11 %

#### ③ 本会の実施した事業

事業名	金額(円)	事業名	金額(円)
地域社協活動助成事業	2,609,000	亀山学園卒業生祝金	40,210
防災資機材購入事業	1,700,000	災害時物資備蓄	99,790
広報活動事業	2,726,029	生活困窮世帯	3,334,750
社会福祉大会開催事業	600,000	在宅ひとり親児童	162,000
担架購入事業	171,000	施設等見舞金	2,336,000
島嶼部バイク購入事業	252,000	行路人旅費支援事業	30,000
障害者活動育成事業	80,000	総合計	14,140,779

### (2) 民生委員児童委員活動への協力

地域福祉の第一線にて活動する民生委員児童委員協議会連合会の事務局として、理事会及び主任児童委員の定例会の支援に努めました。

### (3) 社会福祉関係団体との連携強化及び障がい者団体の活動支援

#### ① 障がい児(者)活動援助事業

愛の広場、ふれあいのつどい、障害者スポーツ大会等、障がいを持った方々が集う社会参加活動に参加し、地域の方と関わる福祉事業推進に協力しました。

#### ② 障がい者団体の活動支援

身体障害者福祉連合協会を支援し、障がい者相談をひまわりセンターにおいて開設し、

行政、障がい者団体等と連携し、福祉活動の充実を図りました。

#### ③中学生徒弁論大会への協力

第60回丸亀市中学生徒弁論大会が6月10日に開催され、青少年育成事業へ積極的に参加した。また、児童健全育成の観点から、保護司会との協働で児童福祉の推進に寄与しました。

#### ④学生の実習受け入れ指導

県内外の大学3校より、将来、社会福祉士として活躍することを志す学生4名を受け入れ、社会福祉援助技術現場実習の指導にあたりました。

また独立行政法人雇用・能力開発機構香川センターより職業訓練生4名の受け入れを行い、社会人として基本的な対応の指導にあたりました。一方、介護事業所では訪問介護員養成機関等より実習生を受け入れ、同行訪問による現場実習を行い、積極的に介護人材養成に協力した。本年度は香川県シルバー人材センターをはじめ、8養成機関等より延べ38名を受け入れました。